

2005年12月14日

川崎近海汽船株式会社  
三菱化学物流株式会社

### 高速 RORO 船 2 隻による北関東/北九州間定期航路開始の件

川崎近海汽船株式会社と三菱化学物流株式会社は1985年より現在迄20年間に亘り北関東/四国・北九州間のコンテナサービスを共同運航して参りましたが、此度両社は2006年7月を目途に北関東/日立港と北九州/日明港を高速大型 RORO 船 2 隻でダイレクトに結ぶ新サービスを開始致します。本航路開設に伴い、従来より川崎近海汽船株式会社が運航の北海道定期航路（釧路航路、苫小牧航路）が北関東で中継され、北海道 / 九州間の海上ルートが一新されることとなります。

北関東の窓口である日立港は東京湾諸港と陸上距離で約100KM程度北に位置しておりますが、北関東の貨物集配地域は陸送距離が東京湾利用に比べ略同程度。又東京以北に位置する工業 / 商業地域からの陸送についてはそれ以下の距離となる上、都内及び周辺市街地での交通渋滞も回避出来る事から本航路の開設により利用者各位の利便性が大幅に改善されます。

加えて首都圏での環状線となる北関東自動車道が常磐自動車道に続き2008年を目途に東北自動車道と接続。又2012年には圏央道が東北自動車道久喜ICから東関東自動車道千葉大栄JCまで開通する予定等、今後道路アクセスは飛躍的に向上致します。

一方北九州日明地区は現在、伝統ある素材産業に加え、新たに自動車関連、精密機械関連産業等の進出により北九州経済圏の中心的地位を確立しており、北九州圏での旺盛な生産体制により国内物流の拡大はもとより、国際物流の分野に於いても中国、韓国、東南アジア諸国に至近である地の利を生かし、今後も輸出入貨物の増加が見込まれており、利便性の観点からも北九州港の発展が期待されております。

今般、両社のこれら地域をダイレクトに結ぶ定期航路の開設は関東/九州間の物流の動脈として、かつ両地域経済の発展に寄与出来る新海上ルートとして更にはモダリティの受け皿としての役割を担い得るものと確信しております。

以上

-----  
本件に関する問い合わせ先

川崎近海汽船株式会社	内航定期船部長	池田 強	TEL / 03-3592-5842
三菱化学物流株式会社	海運事業本部内航部長	芳賀一男	TEL / 03-5408-4804